

銀行名	北國銀行
タイトル	金融経済教育への取組み
取組み内容	<p><b>【主旨】</b>  小学4年生から6年生向けとその保護者を対象として金融経済教育イベント「夏休み親子銀行探検隊」を地域の親子向けに開催し、普段見ることのできない銀行内部の見学やお金の大切さや使い方について学ぶ。</p> <p><b>【当行取組み】</b>  例年約30組の親子が参加し、銀行の見学や実際のお金に触れたりしながらお金の大切さを楽しく学ぶことができ、保護者からも好評を得ている。  平成27年度は本店移転後、初めての実施であり、銀行の営業風景に加え、新本店の建物全体を見て回り、建物の特長や地下の免震装置等の説明に保護者からも高い関心が寄せられた。</p>

銀行名	北國銀行
タイトル	子育て支援への取組み
取組み内容	<p><b>【主旨】</b>  地域の幼稚園・保育園等に向けに子育て支援取組みの一環としてオーケストラアンサンブル金沢による出張型の「北國 Happy! コンサート」を開催。  地域の子供たちに「プロが演奏する素晴らしい音楽と出会う喜びを感じていただきたい」という思いで継続的に実施している。</p> <p><b>【当行取組み】</b>  平成 27 年度には石川県、富山県の保育園など 18 カ所でコンサートを開催。また、新築移転した本店ビルのエントランスホールを利用し、地元子育て誌とのコラボ企画として特別公演も行った。</p>

銀行名	北國銀行
タイトル	環境への取組み
取組み内容	<p><b>【主旨】</b>  環境保全活動の一環として、石川県が実施する「企業の森づくり推進事業」に参画し、CO 削減に取り組んでいる。</p> <p><b>【当行取組み】</b>  平成22年7月に石川県と「県有林における企業の森づくり活動実施に関する協定書」を締結し、石川県森林公園において「北國の森」づくりに継続して取組み、植樹や下刈り、遊歩道整備などの森林整備を役職員のボランティアで実施している。</p>

銀行名	福井銀行
タイトル	「えきまえアントレ・キッズ2015」への参加 (金融経済教育への取組)
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり福井株式会社が主催する「えきまえアントレ・キッズ2015」に、下記のとおり就業体験店舗として参加しました。</li> <li>・子ども達に働く意義を知り、仕事への夢をもってもらうことを目的として、模擬店舗体験を通じ、金融機関の仕事へ興味を持ち、お金の大切さを学ぶ場を提供しました。多数の参加者より、お金と銀行が身近に感じれたと好評をいただきました。</li> <li>・本取組みは、各自治体や学校からの要請に応じ、近隣店舗行員が中心となり、活動の幅を広げています。</li> </ul> <p>・実施日等      平成27年8月22日(土)</p> <p style="padding-left: 40px;">午前の部    10:00～12:30</p> <p style="padding-left: 40px;">午後の部    13:30～16:00</p> <p style="padding-left: 40px;">福井市順化1-3-3 福銀センタービル4階研修室 など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内 容            ・銀行の役割について知ろう！ <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・社会における金融機関の役割</li> </ul> </li> <li>                    ・窓口係を体験しよう！ <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・銀行員が実際使用している機械を操作し、お金の出し入れを実践する</li> </ul> </li> <li>                    ・お金の歴史を学ぼう！ <ul style="list-style-type: none"> <li>・・・福井銀行貨幣資料館の見学</li> </ul> </li> </ul>



銀行名	大垣共立銀行
タイトル	「OKBストリート」を起点とした地元商店街の活性化策の実施
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行は、地域金融機関として、地元と一体となった商店街活性化への取り組みをすすめている。</li> <li>・ 地元の大垣市内にある大垣郭町商店街振興組合をはじめ、大垣市、大垣まちづくり株式会社、総務省（ ）等と広く連携し、当行本店とJR大垣駅を結ぶ通りに位置する大垣郭町商店街のアーケードに「OKBストリート」の愛称を命名。これを起点として、商店街活性化に向けた各種取組みを展開。</li> <li>・ これらの取組みを通して、地域金融機関として、大垣らしい魅力ある町づくりに継続的に貢献。</li> </ul> <p>（ ）総務省・耐災害ICT研究開発の成果活用  ...情報通信ネットワークの耐災害強化のための研究開発（大規模災害においても通信を確保する耐災害ネットワーク管理制御技術の研究開発）</p> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストリートサイン・ストリートフラッグの設置 OKBストリートを視覚に訴え、商店街の認知度アップを図るべく、アーケードにストリートサインとストリートフラッグを設置。</li> <li>・ ベンチの設置 心地良く滞在できる商店街づくりの一環として、デザイン性に優れたベンチを設置。</li> <li>・ 防災・防犯灯の設置 安心安全な商店街の一助とすべく、LEDライトや防犯カメラ等を設置。</li> <li>・ 各種イベントの実施（主な実施イベントを記載）  地元メディアの情報発信力・番組制作力の活用  大垣郭町商店街と地元ラジオ局をマッチング。大垣で行われる祭りにタレントを招致し、ステージイベントやラジオ番組の公開収録を実施。  「OKBストリートバス」の運行  商店街での消費喚起および認知度アップを狙いとして、市内を中心に運行する路線バス1台をラッピング。さらにバスを対象としたフォトコンテストを実施。  「OKBストリート」誕生2周年記念企画の実施  商店街の一角で、地元大学生の協力によるキャンドルアート、地元で活動するミュージシャンによるJAZZ演奏等を実施。  また、併せて商店街アーケードのイルミネーションを実施。</li> <li>・ OKBストリートジャーナルの発刊 大垣郭町商店街や各商店の魅力地域住民へ発信することを目的に、情報誌「OKBストリートジャーナル」を年3回程度発行。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ストリートサイン・ストリートフラッグの設置および、各種イベントなどがメディアで取り上げられることによる商店街の認知度アップ。</li> <li>・ まちなみとの調和に配慮したベンチの設置により、くつろぎ空間の創出。また防災・防犯灯設置により安心安全なまちづくりに貢献。</li> <li>・ OKBストリートジャーナルによる情報発信を通じて、商店街の賑わいを創出。</li> <li>・ 「商店街活性化」に対する関係者の意識の変革。</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行																																																				
タイトル	地方銀行連携「地方からの贈り物」プロジェクト																																																				
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元特産品生産業者の販路拡大等の支援策として、通販カタログを利用したスキームを検討し、当行を含む地方銀行6行とリッキービジネスソリューション(株)（通販カタログ運営会社）が共同で、「地方銀行連携『地方からの贈り物』プロジェクト」を発足させた。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト参加銀行取引先企業の商品を集めた通販カタログを制作するべく、参加銀行が掲載を希望する企業を募集し、通販カタログ運営会社に紹介する。</li> <li>・上記紹介にて制作された通販カタログ「地方からの贈り物」を参加銀行の営業店舗内に設置する。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <table border="1" data-bbox="454 987 1430 1630"> <thead> <tr> <th>カタログ</th> <th>申込期間</th> <th>参加行</th> <th>掲載商品数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Vol. 1</td> <td>H22.11.29～H23.5.20</td> <td>6行</td> <td>231</td> </tr> <tr> <td>Vol. 2</td> <td>H23.5.23～H23.11.30</td> <td>7行</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>Vol. 3</td> <td>H23.11.28～H24.5.31</td> <td>10行</td> <td>262</td> </tr> <tr> <td>Vol. 4</td> <td>H24.6.1～H24.11.30</td> <td>11行</td> <td>309</td> </tr> <tr> <td>Vol. 5</td> <td>H24.12.1～H25.5.31</td> <td>11行</td> <td>347</td> </tr> <tr> <td>Vol. 6</td> <td>H25.6.1～H25.11.30</td> <td>12行</td> <td>339</td> </tr> <tr> <td>Vol. 7</td> <td>H25.12.1～H26.5.31</td> <td>12行</td> <td>343</td> </tr> <tr> <td>Vol. 8</td> <td>H26.6.1～H26.11.30</td> <td>12行</td> <td>351</td> </tr> <tr> <td>Vol. 9</td> <td>H26.12.1～H27.5.31</td> <td>14行</td> <td>386</td> </tr> <tr> <td>Vol. 10</td> <td>H27.6.1～H27.11.30</td> <td>15行</td> <td>396</td> </tr> <tr> <td>Vol. 11</td> <td>H27.12.1～H28.5.31</td> <td>17行</td> <td>407</td> </tr> <tr> <td>Vol. 12</td> <td>H28.6.1～H28.11.30</td> <td>18行</td> <td>367</td> </tr> </tbody> </table> <p>今後も継続発行予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年11月の通販カタログ「地方からの贈り物」Vol. 1の開始以降、参加銀行も着実に増え、本通販カタログがより多くの地域に設置されている。</li> <li>・上記により、地域特産品の全国への知名度向上と新たな販路の拡大が図れているものと考える。</li> </ul>	カタログ	申込期間	参加行	掲載商品数	Vol. 1	H22.11.29～H23.5.20	6行	231	Vol. 2	H23.5.23～H23.11.30	7行	168	Vol. 3	H23.11.28～H24.5.31	10行	262	Vol. 4	H24.6.1～H24.11.30	11行	309	Vol. 5	H24.12.1～H25.5.31	11行	347	Vol. 6	H25.6.1～H25.11.30	12行	339	Vol. 7	H25.12.1～H26.5.31	12行	343	Vol. 8	H26.6.1～H26.11.30	12行	351	Vol. 9	H26.12.1～H27.5.31	14行	386	Vol. 10	H27.6.1～H27.11.30	15行	396	Vol. 11	H27.12.1～H28.5.31	17行	407	Vol. 12	H28.6.1～H28.11.30	18行	367
カタログ	申込期間	参加行	掲載商品数																																																		
Vol. 1	H22.11.29～H23.5.20	6行	231																																																		
Vol. 2	H23.5.23～H23.11.30	7行	168																																																		
Vol. 3	H23.11.28～H24.5.31	10行	262																																																		
Vol. 4	H24.6.1～H24.11.30	11行	309																																																		
Vol. 5	H24.12.1～H25.5.31	11行	347																																																		
Vol. 6	H25.6.1～H25.11.30	12行	339																																																		
Vol. 7	H25.12.1～H26.5.31	12行	343																																																		
Vol. 8	H26.6.1～H26.11.30	12行	351																																																		
Vol. 9	H26.12.1～H27.5.31	14行	386																																																		
Vol. 10	H27.6.1～H27.11.30	15行	396																																																		
Vol. 11	H27.12.1～H28.5.31	17行	407																																																		
Vol. 12	H28.6.1～H28.11.30	18行	367																																																		

銀行名	大垣共立銀行																								
タイトル	防災のための小冊子「おうちできちんとぼうさい」発行																								
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災をきっかけに、家庭内においても防災について話し合い、意識を高めていただけるよう「日頃の備え」や「災害時の行動」などの情報を掲載した防災冊子の制作を企画し、発行（平成26年10月）に至った。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまにも理解いただけるよう、漫画などを取り入れ読みやすい内容の冊子とした。また、本冊子内では災害時の備えとしてOKBが開発した、通帳・カードが不要で利用できる「手のひら認証ATM」についても紹介している。</li> <li>・このほか、本冊子に登場するキャラクターのデザインは、地元の短期大学（大垣女子短期大学 デザイン美術科）の協力を得ている。</li> <li>・平成27年3月、当初発行した「通常版」を一部改定し「岐阜県版」、「春日井市版」を新たに発行。各地方公共団体との連携により、地方色を強調した冊子とした。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <table border="0"> <tr> <td>平成26年10月</td> <td>大垣市内小学校</td> <td>10,000冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成26年12月</td> <td>海津市内小学校</td> <td>2,100冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成27年 3月</td> <td>岐阜県内小学校（新入生対象）</td> <td>21,000冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成27年 3月</td> <td>春日井市内小学校（6年生対象）</td> <td>4,000冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成27年 4月</td> <td>長久手市内小学校</td> <td>4,100冊</td> <td>寄贈</td> </tr> <tr> <td>平成28年 3月</td> <td>岐阜県内小学校（新入生対象）</td> <td>20,000冊</td> <td>寄贈</td> </tr> </table> <p>このほか、各市町村からの要請によりボランティア活動などで活用している。</p>	平成26年10月	大垣市内小学校	10,000冊	寄贈	平成26年12月	海津市内小学校	2,100冊	寄贈	平成27年 3月	岐阜県内小学校（新入生対象）	21,000冊	寄贈	平成27年 3月	春日井市内小学校（6年生対象）	4,000冊	寄贈	平成27年 4月	長久手市内小学校	4,100冊	寄贈	平成28年 3月	岐阜県内小学校（新入生対象）	20,000冊	寄贈
平成26年10月	大垣市内小学校	10,000冊	寄贈																						
平成26年12月	海津市内小学校	2,100冊	寄贈																						
平成27年 3月	岐阜県内小学校（新入生対象）	21,000冊	寄贈																						
平成27年 3月	春日井市内小学校（6年生対象）	4,000冊	寄贈																						
平成27年 4月	長久手市内小学校	4,100冊	寄贈																						
平成28年 3月	岐阜県内小学校（新入生対象）	20,000冊	寄贈																						

銀行名	大垣共立銀行																						
タイトル	ポイントプログラムの引換特典に岐阜県名産品を追加																						
取組み内容	<p>【動機（経緯・きっかけ等）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行独自のポイントプログラム「サンクスポイント・プレゼント」の引換特典に、地方創生への取り組みの一環として「岐阜県名産品」を追加。</li> </ul> <p>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「サンクスポイント・プレゼント2016」の引換特典に、以下の「岐阜県名産品」（10点）を追加。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="470 745 1445 1267"> <thead> <tr> <th>特典名</th> <th>ポイント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>味わいギフト（飛騨牛ビーフカレー等のセット）</td> <td>36,000</td> </tr> <tr> <td>飛騨牛 モモすき焼き用</td> <td>26,000</td> </tr> <tr> <td>明方ハム2本 明方ボロニアソーセージ1本 醤油フランク5本入セット</td> <td>25,000</td> </tr> <tr> <td>奥美濃古地鶏鍋用セット</td> <td>23,000</td> </tr> <tr> <td>岐阜 五平餅</td> <td>19,000</td> </tr> <tr> <td>美濃いび茶</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>長良川物語（鶺鴒せんべい等のお菓子詰め合わせ）</td> <td>17,000</td> </tr> <tr> <td>関孫六 三徳包丁</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td>岐阜県産小麦75%（国産小麦100%使用）うどん</td> <td>14,000</td> </tr> <tr> <td>11品の発芽野菜セット</td> <td>14,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果（効果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜県内の名産品を引換特典に加えることで、地方創生の取り組みへの貢献および顧客満足度の向上をはかる。</li> <li>・取扱開始3ヵ月間（平成28年3月～5月）の引換実績は以下の通り（引換のあった特典のみ記載）。引換特典総数（151個）に対する岐阜県名産品の割合は26%であり、新規特典として順調に推移。</li> </ul>	特典名	ポイント	味わいギフト（飛騨牛ビーフカレー等のセット）	36,000	飛騨牛 モモすき焼き用	26,000	明方ハム2本 明方ボロニアソーセージ1本 醤油フランク5本入セット	25,000	奥美濃古地鶏鍋用セット	23,000	岐阜 五平餅	19,000	美濃いび茶	17,000	長良川物語（鶺鴒せんべい等のお菓子詰め合わせ）	17,000	関孫六 三徳包丁	15,000	岐阜県産小麦75%（国産小麦100%使用）うどん	14,000	11品の発芽野菜セット	14,000
特典名	ポイント																						
味わいギフト（飛騨牛ビーフカレー等のセット）	36,000																						
飛騨牛 モモすき焼き用	26,000																						
明方ハム2本 明方ボロニアソーセージ1本 醤油フランク5本入セット	25,000																						
奥美濃古地鶏鍋用セット	23,000																						
岐阜 五平餅	19,000																						
美濃いび茶	17,000																						
長良川物語（鶺鴒せんべい等のお菓子詰め合わせ）	17,000																						
関孫六 三徳包丁	15,000																						
岐阜県産小麦75%（国産小麦100%使用）うどん	14,000																						
11品の発芽野菜セット	14,000																						

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	移住定住促進支援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年6月5日、岐阜県と「移住定住促進に関する協定」を締結</li> <li>・岐阜県への移住者・定住者を増やすことで、岐阜県の地域振興に寄与することを目的として取組みを開始</li> <li>・当行は、岐阜県への移住・定住の促進活動を通じて岐阜県が進める“清流の国づくり”を応援</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住PRコーナーの設置 東京支店・大阪支店・名古屋支店・名駅出張所に設置</li> <li>・名古屋で移住希望者向けセミナーの開催 「清流の国ぎふ暮らしセミナー」と題し月に1回程度開催</li> <li>・住宅ローン「移住・定住プラン」 申込時点で岐阜県外に居住しており、岐阜県へ移住を希望する方を対象とした住宅ローン。住宅ローンの申込条件となる勤続年数の条件を撤廃し、基準金利より引下げた金利を適用する。</li> <li>・リフォームローン「空き家解体・リフォームプラン」 岐阜県内にある住宅に関する「空き家解体」「空き家の防犯対策」「空き家のリフォーム」「賃借物件のリフォーム」に利用できる。勤続年数の条件を撤廃し、基準金利より引下げた金利を適用する。</li> <li>・岐阜で働く魅力を伝える人材育成塾『ぎふ清流塾』を開講 県外の大学に進学している学生向けの岐阜県内企業見学バスツアーを開催 東京・京都・名古屋で学生と県内企業で働く若手社員とのフリートークを開催</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「清流の国ぎふ暮らしセミナー」を1年で延べ11回開催</li> <li>・「ぎふ清流塾」を延べ4回開催</li> <li>・岐阜県への移住希望者向けセミナー開催、移住定住者向けローンの提供、岐阜県外に進学した学生への県内就職促進イベント開催などを通じて、岐阜県の魅力をアピールし、移住定住促進を図っています。</li> <li>・岐阜県への移住・定住者を対象とした専用ローン 2件、20,000千円の実績。</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	春日井市高蔵寺ニュータウンの活性化
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国的な人口減少に対応するため、産業及び経済の活性化、地域活力の創造を目指し、春日井市と「地方創生に関する連携協定」を平成27年8月4日に締結。</li> <li>・春日井市では、高蔵寺ニュータウンを始めとした市内への移住および定住の促進や空き家対策に力を入れており、春日井市の地域振興に寄与することを目的として支援を開始</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者との協定締結 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年8月4日 春日井市との「地方創生に関する連携協定」締結</li> <li>平成27年3月16日 春日井商工会議所との連携協定締結</li> </ul> </li> <li>・関係者間での協力体制の構築とPR <ul style="list-style-type: none"> <li>UR賃貸住宅への入居から戸建住宅の購入・転居という、ニュータウン開発当初の流れを再生し、年齢均衡のとれた持続可能な「まち」の創生を目指すため、春日井市、春日井商工会議所、独立行政法人都市再生機構、大垣共立銀行が連携して共同記者会見を実施。市内外へと4者の連携および取り組みをPR</li> <li>各関係者の役割 <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;独立行政法人都市再生機構&gt; 賃貸住居する若年者層を高蔵寺ニュータウン地区に呼び込み、将来、当地での戸建転居につなげる</li> <li>&lt;春日井商工会議所&gt; 地元業者と共同で中古住宅をリノベーションして流通させることで、戸建住宅を購入する際の選択肢を拡大する</li> <li>&lt;大垣共立銀行&gt; 専用ローンを開発して資金面で応援</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・住宅ローン「移住・定住プラン」 <ul style="list-style-type: none"> <li>春日井市高蔵寺ニュータウンへの移住・定住を希望する方を対象とした住宅ローン。住宅ローンの申込条件となる勤続年数の条件を撤廃し、基準金利より引下げた金利を適用</li> </ul> </li> <li>・リフォームローン「空き家解体・リフォームプラン」 <ul style="list-style-type: none"> <li>春日井市内にある住宅に関する「空き家解体」「空き家の防犯対策」「空き家のリフォーム」「賃借物件のリフォーム」に利用</li> <li>勤続年数の条件を撤廃し、基準金利より引下げた金利を適用</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携により、高蔵寺ニュータウンの賃貸住宅への移住から当地での定住へと切れ目のない流れが形成できたことが、効果を高めている</li> </ul>

銀行名	大垣共立銀行								
タイトル	「OKB森林共和国」における恵みの森林づくりへの取組								
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年5月12日、岐阜県、揖斐川町、OKB大垣共立銀行の三者により、「OKB森林共和国における恵みの森林づくり協定」を締結（協定期間：平成27年5月12日～平成32年3月31日）</li> <li>・本協定に基づき、揖斐川町のスキー場跡地に「OKB森林共和国」を建国し、森林再生に取り組むと共に地域社会との交流を図る。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <table border="1" data-bbox="481 810 1465 1079"> <tr> <td>名称</td> <td>OKB森林共和国</td> </tr> <tr> <td>所在地</td> <td>岐阜県揖斐郡揖斐川町日坂1509-15 揖斐高原スキー場グレンデ跡地</td> </tr> <tr> <td>面積</td> <td>2ヘクタール</td> </tr> <tr> <td>活動</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマザクラ、カエデ、ヤマグリ、トチ、ウメの植樹・保育</li> <li>・ 地域内外の誰もが参加でき、森林に触れられる環境の整備</li> </ul> </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年6月27日 「OKB森林共和国」建国式典 活動内容：植樹活動、地域交流イベント</li> <li>・平成27年10月24日 OKB森林共和国“秋祭り2015” 活動内容：育樹活動、地域交流イベント</li> <li>・平成28年 4月23日 春の植樹 活動内容：植樹活動</li> <li>・平成28年 6月18日 OKB森林共和国 建国1周年記念式典 活動内容：植樹活動、地域交流イベント</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの活動で大小370本を植樹</li> <li>・今年6月の建国1周年記念式典は、地域内外より約1,200名が参加</li> </ul>	名称	OKB森林共和国	所在地	岐阜県揖斐郡揖斐川町日坂1509-15 揖斐高原スキー場グレンデ跡地	面積	2ヘクタール	活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマザクラ、カエデ、ヤマグリ、トチ、ウメの植樹・保育</li> <li>・ 地域内外の誰もが参加でき、森林に触れられる環境の整備</li> </ul>
名称	OKB森林共和国								
所在地	岐阜県揖斐郡揖斐川町日坂1509-15 揖斐高原スキー場グレンデ跡地								
面積	2ヘクタール								
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヤマザクラ、カエデ、ヤマグリ、トチ、ウメの植樹・保育</li> <li>・ 地域内外の誰もが参加でき、森林に触れられる環境の整備</li> </ul>								

銀行名	大垣共立銀行
タイトル	地元体操クラブの命名権（ネーミングライツ）取得による地域スポーツ振興への貢献
取組み内容	<p><b>【動機（経緯・きっかけ等）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年2月、地域の体操クラブ（NPO法人）が体操専用体育館を購入する際に資金面で援助。</li> <li>・選手の育成、体育館の維持管理には、相応のコストがかかるため、体操クラブから命名権（ネーミングライツ）という形態で資金援助の申し出を受ける。</li> </ul> <p><b>【取組み内容（具体的内容・特徴）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年5月、体操クラブの「チーム名」と「体育館名」の命名権を取得し、それぞれを「大垣共立銀行OKB体操クラブ」、「OKB体操アリーナ」とした。</li> <li>・平成27年5月31日には、体育館のオープニングセレモニーが開催され、体操関係者だけでなく、多くの地域住民にご来場いただいた。</li> <li>・当行から体操クラブに支払われる命名権料は、選手の育成や体育館の維持管理に活用され、当行としても広告宣伝効果が期待できるため、双方にとってメリットのある取組みとなっている。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・命名権取得、ならびに体育館オープンの記事は地元メディアにも取上げられ、体操クラブの会員数増加に繋がっている。平成28年5月31日現在の会員数は430名となり1年間で230名増加した。</li> <li>・OKB体操アリーナは東海地区で唯一の体操専用体育館であり、体操設備も充実しているため、地元岐阜県における新体操競技、体操競技のレベルアップが期待できる。平成27年11月に開催された全日本新体操選手権では所属の男子選手が種目別競技全4種目で優勝を果たした。</li> </ul>

【体育館 外観】



【体育館 内部】



銀行名	十六銀行
タイトル	『第十回 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園 岐阜大会」』の開催
取組み内容	<p>岐阜県内の高校生に、楽しみながら金融経済を学んでいただくことを目的として、平成27年12月20日(日)、岐阜市の「みんなの森 ぎふメディアコスモス」において開催した。岐阜大会は今回で6回目の開催となる。</p> <p>当日は、17チーム・34名が筆記クイズや早押しクイズなどを通して金融経済の知識を競い合った。</p> <p>優勝チームは、平成28年2月28日(日)に開催された全国大会において“ベスト8”に入った。</p> 

銀行名	十六銀行
タイトル	『夏休み親子特別企画「じゅうろくキッズフェスタ！」』の開催
取組み内容	<p>平成 27 年 7 月 30 日（木）、31 日（金）の 2 日間にわたり、当行研修所にて「じゅうろくキッズフェスタ！」を開催した。</p> <p>応募総数 690 通の中より、抽選で、2 日間合計 100 組 200 名の小学生の親子をご招待した。</p> <p>子供たちは、金融クイズに挑戦したり、実際に営業店で使用しているシステムで、自分だけの通帳作成体験をしたり、県金融広報アドバイザーの方からお金の話をギターの弾き語りに合わせて聴くなど、楽しく学んだ。</p> <p>その他、当行卓球部との対戦や、食品サンプルづくり、カブトムシふれあい体験などを通して、親子の絆も深めるなど、イベントは大いに盛り上がった。</p> 

銀行名	十六銀行
タイトル	「じゅうろくプロムナードコンサート2015」の開催
取組み内容	<p>地域の皆さまに、芸術・文化に触れていただく機会を提供することを目的として、平成27年10月14日(水)に、愛知県芸術劇場コンサートホールにて開催した。</p> <p>今年で19回目となる本コンサートには、応募総数4,603通の中から550組1,100名さまをご招待し、“名フィル”の愛称で親しまれている東海地方を代表するオーケストラ「名古屋フィルハーモニー交響楽団」と、マルチな才能で活躍するヴァイオリニスト、川井郁子氏、実力・人気ともに日本を代表するピアニスト菊池洋子氏を迎え、迫力ある演奏をお楽しみいただいた。</p>

銀行名	十六銀行
タイトル	「十六銀行 卓球教室」の開催
取組み内容	<p>平成 28 年 1 月 31 日（日）に、じゅうろくてつめいギャラリーにて「十六銀行 卓球教室」を開催した。この教室は、世界に通用する若手有力選手の育成と強化を目的として、平成 25 年度より岐阜県卓球協会とともに開催しており、今回が 3 回目となる。</p> <p>今年は、岐阜県卓球協会より選抜された岐阜県内の女子中学生 18 名に、日本卓球リーグ女子 1 部にて活躍する当行卓球部が直接、本格的な技術指導を行った。</p> <p>今後も、当行は世界で活躍できる選手の輩出を目指すほか、スポーツ振興を通じて地域の更なる活性化と発展を目指していく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

銀行名	スルガ銀行
タイトル	「SURUGA ECO ACTION」の取り組み
取組み内容	<p>「SURUGA ECO ACTION」に基づく環境保全活動等の実施</p> <div data-bbox="459 398 826 577" style="display: inline-block; vertical-align: top;">  </div> <div data-bbox="866 398 1437 577" style="display: inline-block; vertical-align: top; margin-left: 20px;"> <p>「SURUGA ECO ACTION」は、未来のためへの環境活動に対するスルガの宣言です。 環境に関するさまざまな活動に、また地球温暖化防止をはじめとする国の環境施策に積極的に取り組むことで、社会の一員としての役割を果たしてまいります。</p> </div> <p>(1) スルガ平本部における「ISO14001」活動 当社では、積極的に環境問題に取り組むにあたり、スルガ平本部においてISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムを構築し、認証を取得しています。</p> <p>(2) 富士山周辺の環境保全施策への参加・協力 富士山の環境保全に取り組む「ふじさんネットワーク」に正会員として加盟し、富士山ごみ減量大作戦や自然観察会などのイベントへ当社社員が定期的に参加しています。これらの活動を通して、富士山周辺の環境保全を図るとともに、社員の環境活動への意識を高めています。</p> <p>(3) エコオフィス化の推進 店舗の新設やリニューアルオープンの際に、環境に配慮した設備の導入を継続的に推進しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店内照明はLED照明を利用</li> <li>・店舗屋上に太陽光パネルを設置</li> <li>・エコガラス、カーボンオフセット付リサイクル材の利用</li> </ul> <p>(4) 環境関連金融商品の取扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットバンキング機能の拡大により、環境にやさしいサービスを提供 (Webブックフリー、キャッシュカードの紛失・盗難・再発行の受付など)</li> <li>・インターネット支店口座開設のペーパーレス化 (ANA支店、Dバンク支店、Tポイント支店、リクルート支店)</li> <li>・環境関連の投資信託のお取扱い</li> <li>・投資信託電子交付サービス (取引報告書、取引残高報告書、収益分配金のご案内など)</li> </ul>

銀行名	スルガ銀行
タイトル	教育・文化・福祉支援活動
取組み内容	<p>(1)「静岡県立静岡がんセンター公開講座」特別協賛 平成27年度で12回目を迎えた公開講座は、今回も受講料無料とし、全7回を開催しました。 トップレベルの医療水準を誇る静岡県立静岡がんセンターの医師による最新の治療方法、予防や検診の重要性、治療後の生活方法などについての講演に多くの方々にご参加いただきました。</p> <p>(2)スルガ奨学財団 昭和38年、当社創立者岡野喜太郎翁の百歳を記念して設立されたスルガ奨学財団では、高校在学3年間、大学在学4年間、外国人留学生の大学在学2年間、それぞれ返済の義務のない奨学金を給与しています。奨学金制度による卒業生は平成28年3月末で5,382名にのぼります。</p> <p>(3)「静岡県なつやすみ読書感想画コンクール」協賛 静岡県内の小学生が「夏休み推薦図書」の感動を絵画で表現する「なつやすみ読書感想画コンクール」(静岡新聞社・静岡放送主催)に協賛しています。本コンクールは、静岡県内の約20万人の小学生を対象に開催され、今回で33回目を迎えました。</p> <p>(4)チームラボアイランド Presented by スルガ銀行」への冠協賛 沼津ラクーン(静岡県)にて行なわれた「チームラボアイランド-学ぶ!未来の遊園地-」(平成27年8月1日~31日開催)に冠協賛いたしました。 最新のデジタルテクノロジーを使った創造的なアートの体験により、子供たちの五感を刺激し、新たな可能性を発見する機会を提供いたしました。</p> <p>(5)重度障がい者支援活動 重度障がい者に雇用機会を提供し、社会的経済的自立を促進するとともに、障がい者自らが技術習得を図ること等を目的とした印刷会社、株式会社エイ・ピー・アイ(特例子会社)を平成2年に静岡県、沼津市、当社の共同出資のもと、設立いたしました。 スルガ銀行で使用している伝票や帳票類の印刷、製法業務などを行っており、スルガ銀行各店の窓口をはじめ、さまざまな業務において使用しております。</p> <p>(6)「ピンクリボン運動」をサポート 当社はJ.POSHオフィシャルサポーターとして平成19年より当社ATM時間外手数料の一部金額(時間外手数料が発生するお取引1件あたり1円)を「J.POSHピンクリボン基金」に寄付しています。</p>

銀行名	清水銀行
タイトル	第 48 回清水銀行杯フレンドリーシティ清水少年少女サッカー大会
取組み内容	<p>【経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちがスポーツに生き活きと取り組めるよう、地域におけるスポーツの振興を図り、上記大会に協賛している。</li> </ul> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 28 年 1 月 31 日に開催された決勝戦では、清水エスパルスのマスコットキャラクター「パルちゃん」が選手入場の先導や優勝・準優勝チームと記念撮影を実施した。</li> <li>併せて、エスパルスアンバサダーの齊藤俊秀氏、元エスパルス（現サッカースクールコーチ）の柴原誠氏によるサッカー教室を開催した。</li> <li>優勝チームには賞状・優勝杯に加えて、副賞としてエスパルス開幕戦（清水銀行デー：平成 28 年 2 月 28 日(日)）のチケット（12 チーム 227 人分）を贈呈。</li> <li>清水銀行デー当日は、優勝チームの記念写真を IAI スタジアム日本平のアストロビジョンで紹介した。</li> </ul> <p>【取組の効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本大会は「清水銀行杯」として第 26 回（平成 6 年 1 月）大会より 22 年間 22 回にわたり開催している。</li> <li>本大会は参加制限がなく、誰でも参加できるよう運営されており、サッカーに取組む少年少女の裾野拡大に一役買っている。</li> <li>地域の発展や青少年育成につながる CSR 活動であり、「サッカーの街清水」の発信にも貢献している。</li> </ul> 

銀行名	清水銀行
タイトル	三保松原植林・清掃活動
取組み内容	<p><b>【経緯】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界に誇る「三保松原」(世界文化遺産)の保全と再生を目指し、当行が景観を次世代へ受け継ぐ担い手となるため、平成20年の当行創立80周年記念行事として、植林・清掃活動をスタートさせた。</li> </ul> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動日：平成27年12月5日</li> <li>・活動面積：8.7ha</li> <li>・活動種目：植林(抵抗性クロマツ植林：70本) 活動区域内清掃</li> <li>・参加者数：55人(当行内定者53人、本部分員2人)</li> </ul> <p><b>【取組の効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取組は毎年継続して行っており、今年で9年目となり、植林した松は合計1,620本にのぼる。</li> <li>・地域金融機関として、三保松原の景観の維持と松原の保全・再生に貢献しており、今後も地域との絆を大切にCSR活動を継続していく。</li> </ul>  

銀行名	清水銀行
タイトル	静岡交響楽団への特別協賛
取組み内容	<p>当行は文化的事業への貢献として、静岡を活動拠点とする静岡交響楽団への協賛を平成24年から継続に行っている。平成28年3月27日、当行が協賛する静岡交響楽団 第63回定期演奏会「オーケストラの日」が静岡市清水文化会館マリナートで開催された。</p> <p>なお、今回は静岡市清水区にある高校吹奏楽部を舞台とした小説“ハルチカ”を静岡の魅力発信の1つとして応援していることから、地域応援活動の一環として、平成28年3月23日に地元清水南高校を訪問し、管弦学部の生徒へ静岡交響楽団定期演奏会のチケットを贈呈した。</p> <p>当行は、本コンサート等の文化的事業への協賛を通じ、地域との絆を大切にしたCSR活動を継続していく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

銀行名	三重銀行
タイトル	NPO を応援する取組み
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>  当行で地域通貨を研究していた際、地域通貨の発行に携わる地元NPOと出会い、NPOが持つ地域活性化の担い手としての高い可能性を認識。</p> <p><b>【取組内容】</b>  「子育て支援」や「環境保全」など、毎年対象となる活動分野を設定して県内のNPO団体を募集し、総額100万円を寄付する「NPOサポートファンド」を平成16年に創設。以降、毎年地元NPOに対して寄付による応援を実施。  平成27年度は、「次世代育成のためのNPO応援基金」として、次世代育成支援を主な活動分野とするNPO12団体に総額120万円（各団体6～15万円）を寄付。</p> <p>また、NPO団体が国や自治体等から委託金・助成金等を受ける場合に、資金交付までの「つなぎ資金」として融資する商品「NPOローン」を平成17年に開発。  平成27年度は、NPO向け融資として、2件/13百万円のご融資を実行。</p> <p><b>【効果】</b>  事業遂行の意欲がありながら資金調達の手段がなく、思うように活動できない団体に対し、寄付による応援やNPO向け融資を通じて期待に応えることができた。  NPO団体との意見交換から派生して、様々な地域貢献活動を推進することができた。</p>

銀行名	三重銀行
タイトル	「夏休み！銀行ワクドキ体験隊」の開催
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行は、「次世代育成支援」を社会貢献活動の柱としており、地域の小学生に銀行業務や金融について学んでいただく機会を提供するために、平成19年より本イベントを開始した。</li> </ul> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校高学年と児童と保護者を参加対象とし、       <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）勉強しよう！…お金や銀行のはたらきについての講義、クイズ</li> <li>（2）体験しよう！…「お札を数えよう」（札勘）「1億円を持ってみよう」</li> <li>（3）探検しよう！…銀行内の見学（ロビー、金庫室など）</li> <li>（4）頭取にきいてみよう！ の4つのプログラムに沿って、実施している。（全プログラムで3時間程度）</li> </ol> </li> </ul> <p><b>【効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事後のアンケート等においても、参加者の方から好評いただいている様子。</li> <li>・マスコミ等にも取り上げられ、当行のイメージアップにおいても有意義なものになっており、「親子で楽しめるイベント」として浸透してきている。</li> </ul>

銀行名	百五銀行
タイトル	オリーブの栽培普及を通じた地域活性化
取組み内容	<p>平成 26 年 11 月に当行と志摩市が締結した「地域活性化連携協定」にもとづき、社会貢献活動の一環として、平成 26 年度から「オリーブ栽培普及事業」を始めました。平成 27 年度末までにオリーブの苗木計 578 本を志摩市などへ寄贈し、地域の栽培希望者（企業・市民）に配布されました。</p> <p>また、平成 28 年 3 月には、オリーブ栽培の先進地である香川県小豆島から講師を招き、講演会ならびに栽培・剪定講習会を開催し、栽培技術の向上を支援しました。講演会、栽培・剪定講習会には合計約 90 名の参加者があり、熱心にご聴講いただきました。</p>

銀行名	百五銀行
タイトル	「百五銀行 歴史資料館」の開館
取組み内容	<p>平成 28 年 1 月 12 日にオープンした新本館ビル「丸之内本部棟」内に、地域貢献や金融経済教育の一環として、「百五銀行 歴史資料館」を開館しました。</p> <p>当行の創業期からの歴史のほか、16 世紀以降に鑄造された大判や小判など 17 種類の貨幣も展示しています。</p> <p>特に、天正長大判から万延大判まで、一か所に 6 種類の大判が常設展示されているのは珍しく、また、それら現物の展示に加えて、大判・小判の昔と今を解説しています。</p> <p>開館以降 5 か月間で、約 1,500 名の方々に来館いただき、好評をいただいています。</p> <p>また、江戸時代の「千両箱」と現在の「1 億円」の重さを、実際に手にとって体感できるほか、万延大判のレプリカにも触れていただけます。</p> <p>&lt; 概要 &gt;</p> <p>入館料 / 無料</p> <p>開館時間 / 午前 10 時から午後 4 時まで（最終入館 午後 3 時 30 分）</p> <p>休館日 / 銀行休業日</p> <p>所在地 / 三重県津市丸之内 31 - 21 丸之内本部棟内</p> <p>見学方法 / 予約制（事前にご連絡をお願いします）</p> <p>連絡先 / 経営企画部 広報 CSR 課 TEL 059-223-2326</p>

### 3 百五銀行の歴史 発展期



明治30年(1897年)から今日までの歴史パネルを展示。  
伊勢商人である川喜田四郎兵衛の頭取時代から  
百年を超えるあゆみを通じ、地域の近代化とともに  
貢献し続けた実績をご紹介します。

### 4 金融・通貨の昔と今



天保大判金

天正長大判金

天保五両判金

慶長小判金

万延小判金

円歩金

金融と通貨の「昔」と「今」をパネルと展示物で学べます。  
中空に浮かぶ実物の大判・小判の展示は、当館独自の「見て」「感じる」体感型学習教材です。

### 5 映像で振り返る百五ライブラリー



正面の大型モニターでは、「百五銀行の歴史」と  
「お金と銀行について学ぼう!」を  
映像でご紹介。  
背面のアーカイブコーナーでは、  
過去に発行されたすべての  
「すばらしき“みえ”」を、  
デジタルコンテンツで  
ご覧いただけます。

江戸時代以前の三重にはじまり、  
江戸、明治そして現代へ。  
美しい歴史パネルと動くデジタル掛け軸が誘う、  
ここでしか体験できない百五の  
知的タイムスリップをお楽しみください。

さらなる未来へ。  
そして、地域とともに  
律藩士から伊勢商人へ。  
デジタル技術で楽しみながら識る、  
百五の1世紀を超える歴史絵巻。

### 1 百五銀行設立の背景



百五銀行の発展に重要な関わりのある  
伊勢商人を中心に、文化、地域との  
関わりをご紹介します。



東大伝馬街繁栄之図/歌川広重 石水博物館 所蔵

### 2 百五銀行の歴史 創設期



明治11年(1878年)から明治30年  
(1897年)までの歴史パネルを展示。  
当行が全国で百五番目の国立銀行と  
して創立された時代を、地域の歴史と  
ともにご紹介します。



銀行名	滋賀銀行
タイトル	金融経済教育への取組み
取組み内容	<p>・子どもたちの金融リテラシー向上のため、下記の取組みを実施しています。</p> <p>「中学生チャレンジウィーク」受入事業所としての協力  平成 27 年度より、大津市内の中学 2 年生を対象とした職場体験「中学生チャレンジウィーク」の協力事業所として、職場体験を受け入れています。職場体験では、銀行の仕組みやお金の役割について学ぶ時間を設け、生徒たちの金融リテラシー向上に努めています。なお、平成 27 年度の受け入れ人数は、6 校 21 名でした。</p> <p>金融教育イベントへの出展  平成 27 年度より、「スプリングフェスタ in 矢橋帰帆島公園～こどもワクワクワンダーランド～（主催：株式会社エフエム滋賀/スプリングフェスタ in 矢橋帰帆島公園実行委員会）」に当行のブースを出展しています。貯金箱づくりや、お買い物体験ができるゲームを通して、子供たちがお金の役割について学べる機会を提供しています。平成 28 年 5 月に開催された同イベントでの、当行ブースへの来場者は約 1,000 名でした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	金融経済教育（リそなキッズマネー）への取組み
取組み内容	 <p>毎年夏休み期間を中心に、子ども向け金融経済教育「リそなキッズマネーアカデミー」を開催しています。クイズやゲームを通して、銀行の役割や社会の中でのお金の流れを学んでいただいています。近年、地域の企業・団体とのコラボレーション企画も多数開催しております。</p> <p>&lt; 写真は高槻警察署との合同企画 &gt;</p>

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	金融経済教育（職場体験、出張授業）への取組み
取組み内容	 <p>地元の小・中学生を対象に職場体験・出張授業を行っています。</p> <p>営業店では銀行の役割や仕事についての勉強だけでなく、模擬紙幣を用いて札勘の練習をしたり、実際にロビーに立ってお客さまへの挨拶や接客等も行っています。</p> <p>出張授業ではクイズやグループワークを中心に、お金の大切さについて学んでいただいています。</p> <p>&lt; 写真は中学生対象の出張授業の様子 &gt;</p>

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	エコノミクス甲子園地方大会事務局としての取組み
取組み内容	 <p>日本の社会構造の変化に伴い、社会に羽ばたく高校生たちへの金融知力の普及がますます必要とされているなかで、高校生に金融経済を楽しみながら学んでもらうこと、テクニックではなく実生活に生かせる金融経済知識を基礎から学んでもらうことを目的として、2006年度よりNPO 法人金融知力普及協会と金融経済クイズ選手権を開催し、大阪大会の事務局として取り組んでいます。</p>

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	近畿大阪銀行の森づくり（交野市）等で環境保全への取り組み
取り組み内容	  <p>「近畿大阪銀行の森づくり」は、大阪府のアドプトフォレスト制度（大阪府・交野市・森林所有者と協定を結び、森づくりに参画するための制度）を利用して、2010年11月より、当社の10周年記念事業の一環としてスタートし、現在、春と秋の年2回実施しています。</p> <p>2016年6月は計81名が参加し、カエデ・ツツジの植樹・テーブルのペンキ塗り、階段整備やゴミ拾いなどを行いました。</p>

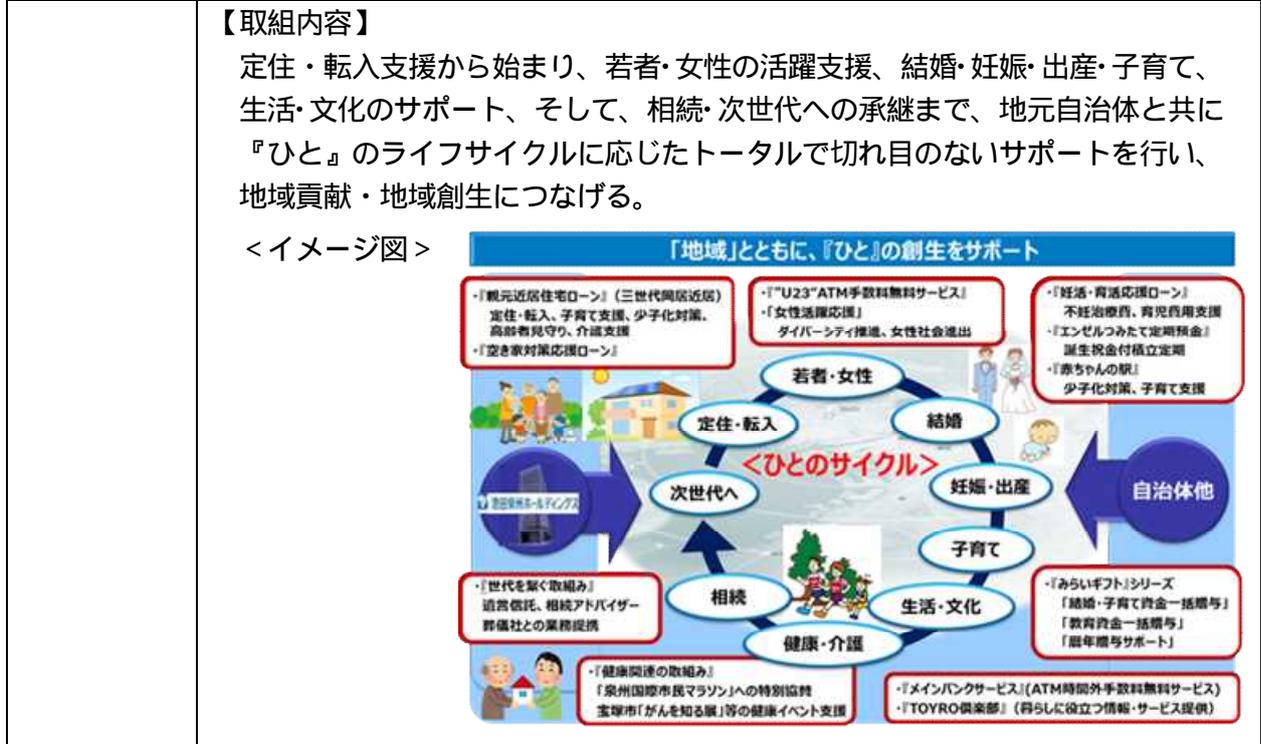
銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	大阪府との「高齢者にやさしい地域づくり推進協定」の締結
取組み内容	<p>協定は大阪府下での急速な高齢化や認知症高齢者の増加を受け、徘徊などで行方不明になった認知症高齢者の早期発見・保護、見守りに関し、大阪府内にあるりそなグループの営業店が協力するものです。</p> <p>本協定により高齢者やそのご家族が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに貢献していきます。</p> <p><u>「徘徊・見守り SOS ネットワーク」に参画し、行方不明者の情報を素早く共有</u> 認知症などにより行方不明になった高齢者の情報を関係機関に展開する「徘徊・見守り SOS ネットワーク」に加入し、大阪府下約 200 店舗のネットワークを活かした情報連携により、行方不明高齢者の早期発見に協力します。</p> <p><u>認知症に対する正しい知識の普及・啓発活動</u> りそなグループの全社員が受講している認知症サポーター養成講座を今後も継続的に実施。認知症特有の症状や対応方法などを正しく理解し、認知症の方やそのご家族をあたたくサポートします。</p> <p><u>店舗の窓口や訪問先での見守りを強化</u> 店舗の窓口での振り込め詐欺被害の防止や渉外担当者による訪問先での安否確認などに努めます。</p>

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	関西フィルハーモニー ファンドレイジングによるチャリティコンサート
取組み内容	 <p>関西フィルハーモニー管弦楽団との共同コンサートを 2011 年から毎年開催しています。この取組みは、通常大口スポンサーになれない中小企業、個人の取引先に働きかけ、文化支援事業の「場」を提供する方式 ファンドレイジング方式 により、地元文化を育成する仕組みを作り、多くの皆さまが音楽に触れる機会を提供しております。第 7 回目となる前回は、大阪府立豊中高等学校の吹奏楽部と関西フィルハーモニーとのコラボレーション演奏が実現しました。</p>

銀行名	近畿大阪銀行
タイトル	小児がん等の医療ケアを支援するチャリティウォークへの参加
取組み内容	  <p>小児がんの医療ケアを行う「チャイルド・ケモ・クリニック」の基金団体である「公益財団法人チャイルド・ケモ・サポート基金」が主催のチャリティーウォークイベントに参加しました。イベント全体では 850 名参加し（当社社員 97 名）チャリティーT シャツを着用し、三宮や元町中華街の名所約 5.5 キロを歩きました。</p>

銀行名 池田泉州銀行

タイトル 「地域」とともに『ひと』の創生をサポート  
 ~『ひと』のライフサイクルに応じた切れ目のないトータルサポート~



- 「三世同居・近居支援」(定住支援、空き家対策、子育て支援、高齢者見守り)
- 『親元・近居住宅ローン』  
 兵庫県川西市、大阪府豊能町、岸和田市、泉佐野市にて取扱い
  - 若者・女性活躍支援
    - 『U23 0円(応援)サービス』  
 18歳から23歳までの若者に対し、ATM時間外手数料を無料化
  - 少子化対策
    - 『妊活・育活応援ローン』(不妊治療費、育児資金用ローン)  
 大阪府池田市、箕面市にて上記ローンの利子補給制度を実施
  - 子育て支援
    - 『エンゼルつみたて定期預金』(誕生祝い金付積立定期預金)  
 地元自治体と協働で新生児の誕生祝い金制度を実施  
 大阪府池田市、兵庫県猪名川町にて取扱い
    - 『赤ちゃんの駅』(9市町24店舗にて実施)
  - 生活・文化・健康
    - 『泉州国際市民マラソン』への協賛
  - 「世代を繋ぐ」取組み
    - 「遺言信託」、「相続アドバイザー制度」、「葬儀社との業務提携」等

参考 平成27年度『川西市親元近居助成制度』(三世同居・近居)実績

制度 活用者	新築/中古の割合		制度活用者の住所		親の関係	
	新築	中古	市内より	市外より	夫方	妻方
128件	75.0%	25.0%	54.7%	45.3%	50.0%	50.0%

銀行名	南都銀行
タイトル	ホッケーを通じた地域スポーツ振興
取組み内容	<p><b>【継続取組】</b></p> <p>○ホッケースクールの開催（当行ホッケー部員が指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的：ホッケーを通じた社会・地域貢献、ホッケー競技の普及と裾野拡大</li> <li>・内容：奈良県および奈良県近郊在住の小学生を対象としたホッケースクールを銀行のグラウンドにて実施。今年度は年間4回開催、1回約50名を募集。</li> </ul> <p><b>【新規取組】</b></p> <p>○行政（奈良市）と提携し市内小中学校へ訪問しスポーツ指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・概要：平成28年4月、奈良市より当行ホッケー部が『Top Sports City 奈良』のパートナー認定を受ける。（奈良市をホームタウン（本拠地）として活躍するスポーツ競技のトップチームに対し、奈良市がパートナー認定するもの）</li> <li>・目的：スポーツの素晴らしさを伝え、奈良市のスポーツ振興・推進に寄与し、青少年の健全育成、地域の活性化、その他社会貢献等を図る。</li> <li>・内容：学校巡回事業（市内の小中学校を選手が訪問し指導する。 年間3～5回、1回約2時間程度。） 他のパートナーチームとの合同ファン感謝デーの開催。 奈良市の事業や各種イベントへの参加、PR活動。</li> </ul> <div data-bbox="587 1256 1286 1720" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">ホッケースクールの模様</p>

銀行名	南都銀行
タイトル	「ナント・なら応援団」による観光ボランティア活動
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当行退職者から成る「ナント・なら応援団」は、県下の社寺等において拝観のボランティア・グループで、平成22年開催の平城遷都1300年祭を機に結成。</li> <li>○ 奈良県内各地で文化財を特別公開する「祈りの回廊 秘法・秘仏特別開帳」等において、元銀行員のきめ細やかな対応を強みに活動し、観光客から好評を得ています。</li> <li>○ 平成28年春には全6か所でガイドを実施。今後とも観光県奈良の活性化に取り組んでまいります。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>矢田寺での研修会の模様</p> </div>

銀行名	紀陽銀行
タイトル	「熊野古道の参詣道環境保全活動」について
取組み内容	<p>和歌山県が誇る「世界遺産」熊野古道は、雨や台風の被害にたびたび見舞われています。熊野古道参詣道の傷みを修復し、その価値を守り次世代へ伝えていくため、和歌山県が行っている「10万人の参詣道環境保全活動」に平成24年より参画し、平成28年6月は4回目の実施となった（110名が参加）。</p> <p>一般的に世界遺産（登録資産）の修復は、現状変更等の様々な申請を行ったうえで、専門家が修復作業を行うもので、基本的に一般の者が修復に携わることはない。しかし、熊野古道の参詣道環境保全活動では、登録資産が『道』であることから、市町村の文化財担当者の立会いのもと、世界遺産センター職員のレクチャー等を受けながら、雨水により土が削りとられた地面に土入れ作業を行うものであり、世界遺産の修復に直接関わるという貴重な体験ができる。</p>

銀行名	鳥取銀行												
タイトル	農業を通じた連携・交流と地域活性化支援												
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県では、高齢化や担い手不足など様々な問題を抱えている農村と、地域活性化などの社会貢献活動や新事業創出に取り組もうとする企業の連携によって鳥取県内の農村地域の維持や再生を目指した活動を「とっとり共生の里づくり」と称し、推進していた。</li> <li>・平成 27 年 3 月、当行はその活動や趣旨に賛同し、鳥取県智頭町五月田集落、鳥取県、智頭町との間で「とっとり共生の里づくり」の活動協定を締結。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動期間は、平成 27 年 4 月から 5 年間を目処とし、活動地域は鳥取県智頭町五月田集落。</li> <li>・具体的な活動は、遊休農地を再生し有効活用するため、農地の草刈りや農道・用水路を整備。また、新たに生産する農産物の検討や苗の植え付け、収穫等を実施。</li> </ul> <p>(平成 27 年度活動内容)</p> <table border="1" data-bbox="443 1070 1465 1294"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>参加者 (行員及びその家族)</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 27 年 5 月</td> <td>46 名</td> <td>ブルーベリー・さつまいもの苗木植え付け</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 8 月</td> <td>36 名</td> <td>畑の草刈りと農業水路の清掃作業</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年 11 月</td> <td>59 名</td> <td>さつまいもの収穫と玉ねぎ等の植え付け</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【今後について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き農業を通じた集落との連携・交流を図るほか、当行のネットワークや外部機関との連携を通じて、集落で生産された農産物の加工・開発及び販路拡大や 6 次産業化を支援していく。</li> </ul> 	時期	参加者 (行員及びその家族)	活動内容	平成 27 年 5 月	46 名	ブルーベリー・さつまいもの苗木植え付け	平成 27 年 8 月	36 名	畑の草刈りと農業水路の清掃作業	平成 27 年 11 月	59 名	さつまいもの収穫と玉ねぎ等の植え付け
時期	参加者 (行員及びその家族)	活動内容											
平成 27 年 5 月	46 名	ブルーベリー・さつまいもの苗木植え付け											
平成 27 年 8 月	36 名	畑の草刈りと農業水路の清掃作業											
平成 27 年 11 月	59 名	さつまいもの収穫と玉ねぎ等の植え付け											

銀行名	鳥取銀行								
タイトル	ふるさと納税を促進する定期預金の取扱いと地元特産品の販路拡大支援								
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当行では、県内外の幅広いお客さまとインターネットを通じた預金取引の拡大を目指し、インターネット上の店舗「とっとり砂丘大山支店」の開設を検討していた。</li> <li>・ 全国の銀行がインターネット支店を開設していたなか、当行独自で特色のある商品・サービスを提供したいと考え、また、地域金融機関として、行政や地元企業と連携し、地元をPRする仕組みを検討していた。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成27年3月のインターネット支店の開設と同時に、鳥取県へのふるさと納税を促進する「故郷とっとり応援定期預金」の取扱いを開始。</li> <li>・ 本定期預金は、利息の一部を「ふるさと納税」として、鳥取県に代行納税（寄附）するとともに、代行納税（寄附）のお礼の品として地元特産品を用意し、発送するもの。</li> </ul> <p><b>【成果（効果）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本定期預金の対象者は、インターネット上で口座を開きいただいた鳥取県外居住の個人の方であり、お礼の品として、カニなどの海産物、乳製品、牛肉などの地元特産品を用い、送付することで、地元の魅力を全国に向けてPRした。また、当行取引先企業の商品等を用い、取引先企業の販路拡大を同時に支援。</li> <li>・ 本定期預金の取扱開始によって、鳥取県へのふるさと納税を促進し、財政の安定化に貢献することなどが認められたことから、鳥取県より「ふるさと納税特別パートナー企業」の第1号に認定。</li> </ul> <p>(故郷とっとり応援定期預金 取扱実績)</p> <table border="1" data-bbox="496 1547 1002 1809"> <thead> <tr> <th></th> <th>27年度実績 (平成28年3月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>お預入件数</td> <td>152件</td> </tr> <tr> <td>お預入金額</td> <td>7.6億円</td> </tr> <tr> <td>納税額</td> <td>1.5百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>定期預金の利息の一部を「ふるさと納税」として、鳥取県への代行納付（寄附）した額</p> 		27年度実績 (平成28年3月末)	お預入件数	152件	お預入金額	7.6億円	納税額	1.5百万円
	27年度実績 (平成28年3月末)								
お預入件数	152件								
お預入金額	7.6億円								
納税額	1.5百万円								

銀行名	広島銀行
タイトル	金融経済教育への取組み
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>  ・「金融リテラシーの向上」を目的に、社会貢献活動の一環として実施。</p> <p><b>【取組み内容】</b>  中学生・高校生向け  ・経済活動の概要、銀行の役割、お金の大切さに係る講義及び、銀行施設の見学（窓口、貸金庫、ＡＴＭコーナー等）を実施。  小学生向け  ・夏休みに「ひろぎん キッズ・マネースクール」を広島、福山で各１回開催。  ・銀行施設の見学（窓口、貸金庫、ＡＴＭコーナー）及びＡＴＭの操作や札勘体験等を実施。また、外部講師（税理士）による、お金や働くことの大切さ、税金の基礎知識に係るクイズ形式の講義を実施。</p> <p><b>【取組み効果】</b>  ・銀行業務やお金の大切さ等に係る講義、また日ごろ見ることのできない銀行施設の見学や各種体験等を通じて各世代に応じた「金融リテラシーの向上」が図られ、参加関係者から高い評価をいただいている。</p>

銀行名	山口銀行
タイトル	社会貢献への取組み
取組み内容	<p><b>【取組み内容】</b></p> <p>1. 各種CSR活動の推進</p> <p>(1) 青少年育成支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度より、地元の高校生を対象に、金融経済教育を通じた地域貢献活動の一環として、全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の山口大会開催を開始。平成27年度も第10回大会を12月に開催し、9校46名が参加。</li> <li>・平成24年度より、劇団四季（四季株式会社）が演劇を通じて子供たちの健全な育成に資することを目的に行っている大型児童招待事業「こころの劇場」山口公演への協賛を開始。平成27年度も協賛継続し、山口県内4ヶ所5公演、約5,300名の児童が参加。</li> <li>・やまぎん史料館を活用し、小学生夏休みセミナーや各種講演会などの開催を通じ、地域の皆様の交流・憩い・学びの場を引続き提供した。</li> </ul> <p>(2) 地域と海外の交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和61年から実施している下関市立大学の聴講留学生支援を平成27年度も実施した（中国・タイ・トルコから5名の留学生受入（受入累計156名））。</li> </ul> <p>(3) スポーツ振興支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元最大のスポーツイベントである「下関海響マラソン」に対して、初回大会（H20.11.16）からフルマラソンのゼッケンスポンサーを務め、大会運営に協力。平成27年度は第8回大会が実施され、協賛・運営へ協力。</li> <li>・平成23年度に山口県で開催された「山口国体・山口大会」で高まった競技水準を維持・向上させ、スポーツ振興による豊かな社会作りの一助とするため、平成24年度より山口県体育協会への寄付を継続し、平成27年度も実施した。</li> <li>・平成19年度より県内女子サッカーの活性化のため、山口県女子サッカー選手権大会を「やまぎんカップ女子サッカー大会」として山口県サッカー協会と共催開始（平成27年度は8月に実施）。また、平成20年度より山口県、広島県、北九州市の女子サッカーチーム代表の交流戦としてYMFGLレディースサッカー大会を開始した（平成27年度は2月に実施）。</li> </ul> <p>(4) 文化支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成9年より山口県交響楽団演奏会へ協賛を開始しており、平成19年度からは「やまぎんコンサート」として冠化。平成27年度は12月に開催。</li> </ul> <p>2. 環境問題への取組の推進</p> <p>(1) 森林整備活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度に取組開始した森林整備活動「未来へつなげよう『やまぎんの森』」に継続取組み。</li> <li>・里山林再生事業として植樹活動を実施した下関市内の森林を対象に定期的な整備活動を実施している。</li> </ul> <p>(2) 節電・CO<sup>2</sup>削減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度同様、クールビズ・ウォームビズ、毎月3回の一斉消灯日、毎月ノーマイカーデーなどを継続実施。</li> </ul> <p>3. 積極的な情報発信について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当行のCSR活動について、ニュースリリース、ディスクロージャー誌やホームページへの掲載など、積極的な情報発信に努めた。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>

銀行名	阿波銀行
タイトル	「こども応援債」の取扱い開始
取組み内容	<p>阿波銀行創業 120 周年記念活動の一環として、平成 27 年 10 月より、私募債発行企業から当行が受け取る手数料の一部を学校等へ寄付する「こども応援債」の取扱いを開始しました。</p> <p>運動用具や図書・楽器等を寄贈することで、次世代を担うこどもたちの健やかな成長を応援するとともに、私募債発行企業の地域社会への貢献が可能な商品内容となっております。</p> <p>平成 28 年 5 月末現在の取扱い実績は 68 件 52 億円となっております。寄付については、3 ヶ月分をとりまとめてその後原則 3 ヶ月以内に行っており、これまでに延べ 34 先に対して、児童図書や楽器等の寄贈を行っています。受贈先からは感謝のお言葉を頂いており、発行企業の C S R にもつながっています。</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 100%; text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> </div>

銀行名	阿波銀行
タイトル	地元徳島の学術や文化振興に貢献します
取組み内容	<p>徳島県内における優れた学術・文化の振興と発展に貢献することを目的に設立した（公財）阿波銀行学術・文化振興財団を通して、企業や学校等における先進技術の研究開発や、地域文化の発展に結びつく活動に対して助成を行っています。</p> <p>平成 28 年度までの累計の実績は、学術部門 172 件 9,640 万円、文化部門 374 件 6,742 万円、 合計 546 件 1 億 6,382 万円となっています。</p> <p>今後も継続して地元徳島の産業・学術・文化の発展、振興に貢献できるよう努めていきます。</p> 

銀行名	阿波銀行
タイトル	地域の活性化に取り組んでいます
取組み内容	<p>地元徳島県の豊かな農山漁村地域を次世代に引き継いでいこうとの思いから、徳島県と協働パートナー協定を締結し、農山漁村地域における多様なボランティア活動に参加しています。</p> <p>過疎化が進む地域の方からの依頼のもと、平成27年度は、祖谷地区でのソバやじゃがいもの収穫作業、三好市での「キノコの植菌作業」、勝浦「ビッグひなまつり」の準備等を行いました。</p> <p>また、当行役職員による森林保護を目的とした「あわぎんの森」森づくりボランティア活動のほか、アドプトプログラム吉野川をはじめとした県内河川の清掃活動にも積極的に取り組んでいます。</p>  

銀行名	阿波銀行
タイトル	青少年の金融教育に取り組んでいます
取組み内容	<p>金融について学び、正しい金銭感覚を身につけてもらうため、徳島県内の小学校で当行職員が教壇に立つ、「あわぎん子ども金融教室」を平成18年から開催しています。</p> <p>また、県内の小中学校で、銀行の役割やビジネスマナーに関する出前授業を随時開催しているほか、徳島大学の「起業力養成講座」へも当行職員を講師として派遣しています。</p> <p>さらに、毎年夏休みには「夏休み親子ふれあい金融機関見学会」を継続的に実施し、金融や銀行について楽しく学べる機会を提供しています。</p> 

銀行名	阿波銀行
タイトル	徳島魅力再発見ガイドブックを発刊
取組み内容	<p>「徳島のみなさまに徳島の魅力をもっと知ってもらいたい」そんな気持ちから、当行の女性職員とタウン情報誌「あわわ」の編集部が共同でガイドブックを作成しました。あわわ編集部が推薦するスポットへ、女性職員が自ら取材を行い、平成27年11月に第一弾となる「鳴門編」を発行し、これまでに「徳島編」「県南編」「県西編」の全4編を作成、徳島で暮らす毎日がもっと楽しくなる情報を発信しています。</p>  <p>The image displays four covers of the 'あわわ' (Awa) guidebooks, each with a different theme and color scheme:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>鳴門編 (Mitsunomiya):</b> Features a blue and green color palette with illustrations of citrus slices, a fish, and a boat. The title is '鳴門の香りをめぐる旅' (A Journey to Taste the Fragrance of Mitsunomiya).</li> <li><b>徳島編 (Tokushima):</b> Features an orange and green color palette with illustrations of citrus slices, a boat, and a traditional festival float. The title is '徳島の伝統に触れる時間' (Time to Touch the Tradition of Tokushima).</li> <li><b>県南編 (Kōnan):</b> Features a green and blue color palette with illustrations of turtles, a starfish, and a bear. The title is '波の音色に誘われて' (Invited by the Sound of the Waves).</li> <li><b>県西編 (Kōsei):</b> Features a red and green color palette with illustrations of a monkey, a tree, a bear, and a festival float. The title is '歴史と自然に出逢えるひととき' (A Moment to Encounter History and Nature).</li> </ul>

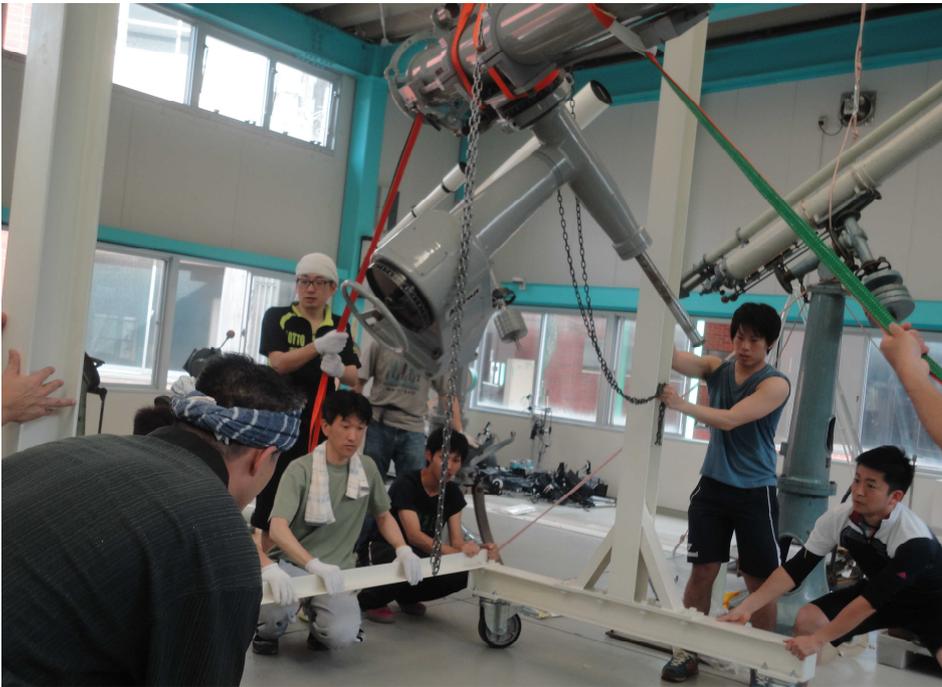
銀行名	百十四銀行
タイトル	金融教育活動
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>  将来を担う子どもたちにとって、お金の流れや経済の仕組みを学ぶことは重要であると考え、小・中・高・大学生の段階に応じて金融知力を身につけることができる機会を提供するために様々な金融教育活動を行っている。</p> <p><b>【取組み内容・効果】</b>  <b>地元大学法学部特別講義</b>  金融業界について理解を深めていただくため、行員が講師となり、銀行業務について法律との関係を交えながら講義を行っている。  就職する前の早い段階から金融業界についての知見を広げる機会として大学側から好評を得ており、金融志望の学生への有用な情報提供となっている。</p> <p><b>エコノミクス甲子園</b>  高校生を対象にした金融知力を身につけるクイズ大会を、平成20年より毎年開催している。クイズを通じて楽しみながら金融知力を身につける場として、また、金融に関する興味を持つ入口体験として役立っており、参加者からの評価も高い。</p> <p><b>職場体験学習</b>  各営業店が、地元の中学校などを主たる対象としてさまざまなカリキュラムを企画し、ロビーマネージャーの体験や銀行内の見学、ビジネスマナーについての講習会などを開催している。  銀行とはどのような仕事をする所か行員の話の聞いたり、実際に銀行内を見学することで、銀行の業務や役割、重要性についての理解が深まったという感想が多く聞かれている。また、生徒たちが将来の職業について考える機会としても役立っている。</p> <p><b>親子体験教室</b>  香川県金融広報委員会と連携し、小学生およびその保護者を対象に、銀行の基本的業務や紙幣の偽造防止技術についての話のほか、本店ビル内を見学したり、本物の1億円や1キロの金塊に触れる体験の機会を提供している。  参加した子どもたちや保護者から、銀行のお金を「預かる」「貸す」「送る」という仕事や金融について興味を持ったという感想が多く寄せられている。また、本物の1億円や金塊に触れる体験は参加した小学生だけでなく、保護者からも大変好評を得ており、銀行を身近に感じていただけるイベントとなっている。</p>

銀行名	百十四銀行								
タイトル	環境保全活動								
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>  地域金融機関として、社会的意義のある環境保全に積極的に取り組んでいる。</p> <p><b>【取組み内容・効果】</b>  <b>フォレストマッチング協働の森づくり活動</b>  創業130周年の記念行事、およびCSRの一環として、平成20年11月より香川県や高松市などとパートナー協定を結び、『百十四の森』づくり活動を開始。平成20年～平成24年は、香川県高松市塩江町にて植林活動を実施。のべ217名の行員とその家族で0.7haにコナラを1,400本植林した。平成25年からは、香川県丸亀市綾歌町にて過去に植林された森林の除間伐、枝打ち作業を行っている。  行員の森林保全に対する理解が深まっていると同時に、若い行員も多く参加することで、社会貢献意識の高い行員の育成に役立っている。</p> <p>地域の清掃活動に参加  毎年、高松市が主催している海岸沿いや空港、地元商店街などの清掃活動に、開催地近くの営業店行員や本部分行員が中心となって参加している。  香川県内県外の営業店においても、地元自治会等とともに水路掃除を行ったり、国立公園や寺院の清掃など、地域の環境美化に取り組んでいる。  継続的な活動により、行員の環境保全に対する意識の向上に繋がっている。</p> <p><b>環境配慮型商品の取扱い</b>  環境配慮に取り組む個人・企業を支援するために、専用商品のほか、環境に配慮した素材を使用した通帳を取扱うなど、本業を通じての環境保全に取り組んでいる。</p> <p><b>【環境配慮型商品】</b></p> <table border="1" data-bbox="467 1525 1442 1789"> <thead> <tr> <th data-bbox="467 1525 804 1559">商品名</th> <th data-bbox="804 1525 1442 1559">商品概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="467 1559 804 1626">環境配慮型私募債 (愛称：百十四オリーブ債)</td> <td data-bbox="804 1559 1442 1626">第三者認証の取得や環境配慮型経営が確認できる企業に対し、金利を優遇</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1626 804 1693">百十四環境サポート融資 (愛称：百十四グリーンファンド)</td> <td data-bbox="804 1626 1442 1693">お客さまの環境への取組みを3段階で評価し、貸出金利に反映</td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1693 804 1789">百十四再生可能エネルギー事業支援融資 (愛称：百十四エネサポート)</td> <td data-bbox="804 1693 1442 1789">再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、太陽光発電事業等に参入する事業者の設備資金需要に対応</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【紙クロス通帳の取扱い】</b>  通帳の表紙素材にリサイクルが可能な紙クロスを使用しているほか、印刷にはベジタブルインキ（植物性インキ）を使用している。</p>	商品名	商品概要	環境配慮型私募債 (愛称：百十四オリーブ債)	第三者認証の取得や環境配慮型経営が確認できる企業に対し、金利を優遇	百十四環境サポート融資 (愛称：百十四グリーンファンド)	お客さまの環境への取組みを3段階で評価し、貸出金利に反映	百十四再生可能エネルギー事業支援融資 (愛称：百十四エネサポート)	再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、太陽光発電事業等に参入する事業者の設備資金需要に対応
商品名	商品概要								
環境配慮型私募債 (愛称：百十四オリーブ債)	第三者認証の取得や環境配慮型経営が確認できる企業に対し、金利を優遇								
百十四環境サポート融資 (愛称：百十四グリーンファンド)	お客さまの環境への取組みを3段階で評価し、貸出金利に反映								
百十四再生可能エネルギー事業支援融資 (愛称：百十四エネサポート)	再生可能エネルギーの固定価格買取制度を活用し、太陽光発電事業等に参入する事業者の設備資金需要に対応								

銀行名	百十四銀行
タイトル	地域スポーツの振興
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>      青少年の健全な育成と、スポーツを通じた地域活性化に貢献するべく、地域スポーツの振興に取り組んでいる。</p> <p><b>【取組み内容・効果】</b>      百十四銀行旗 香川県学童軟式野球新人大会の開催      平成20年より毎年開催しており、平成27年11月に行われた第8回大会では、香川県内8支部の予選を勝ち抜いた32チームが深紅の優勝旗を巡って、熱戦を繰り広げた。      少年野球チームの間では「百十四杯」と呼ばれており、地域に密着した大会となっている。</p> <p>ゲートボール大会の開催      平成2年より毎年5月に開催しており、平成28年5月に行われた第26回大会では、香川県内の予選を勝ち抜いた60チーム約350名が参加された。      本大会を目標に日々練習に励んでいる方が多くおり、毎年大いに盛りあがっている。</p> <p>地域のスポーツイベントに参加      毎年、県内外から多くの選手が参加する「香川丸亀国際ハーフマラソン」や全国的にも珍しい都市型トライアスロン「サンポート高松トライアスロン」などのスポーツイベントに選手として参加するだけでなく、100名以上の行員がボランティアスタッフとして各大会をサポートしている。</p> 

銀行名	百十四銀行										
タイトル	見守り活動の実施										
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご高齢者等が住みなれた地域で安心して生活することができる環境を整備し、地域福祉の向上に寄与することを目的に各地方公共団体等と見守りに関する協定を締結している。</li> <li>・地域の子どもたちの安全を守るため、地元警察や地域の方々と連携し、見守り活動を実施している。</li> </ul> <p><b>【取組み内容】</b></p> <p>&lt;高齢者見守り活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が通常業務中に高齢者宅等を訪問した際、高齢者等の日常生活に何らかの異変を察知した場合、速やかに警察等にその状況を連絡する。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="469 891 1441 1249"> <thead> <tr> <th data-bbox="469 891 794 927">協定締結日</th> <th data-bbox="794 891 1441 927">地方公共団体等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="469 927 794 1005">H27年10月1日</td> <td data-bbox="794 927 1441 1005">三木町地域で支えあう見守り活動</td> </tr> <tr> <td data-bbox="469 1005 794 1084">H28年2月10日</td> <td data-bbox="794 1005 1441 1084">かがわ高齢者見守りネットワーク</td> </tr> <tr> <td data-bbox="469 1084 794 1164">H28年4月20日</td> <td data-bbox="794 1084 1441 1164">坂出市まいまいこ（徘徊）高齢者おかえり支援事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="469 1164 794 1249">H28年5月24日</td> <td data-bbox="794 1164 1441 1249">玉野市地域の安心・安全見守り活動</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;子どもたち見守り活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子ども110番」に香川県内の全営業店が加盟。</li> <li>・営業店独自に見守り活動を実施。</li> </ul> <p><b>【庭瀬支店】</b> 地元小学校のPTAの方々と協力し、児童の下校時に見守り活動を実施。</p> <p><b>【善通寺支店】</b> 社用車に専用マグネットを貼り、善通寺市内を巡回する見守り活動を実施。</p> <p><b>【取組みの効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで特に目立った成果はないが、協定の締結や地元の方々との関わりを通じて、職員の見守り活動に対する意識が高まっている。</li> <li>・引き続きだれもが安心して暮らせる地域づくりに貢献していく。</li> </ul>	協定締結日	地方公共団体等	H27年10月1日	三木町地域で支えあう見守り活動	H28年2月10日	かがわ高齢者見守りネットワーク	H28年4月20日	坂出市まいまいこ（徘徊）高齢者おかえり支援事業	H28年5月24日	玉野市地域の安心・安全見守り活動
協定締結日	地方公共団体等										
H27年10月1日	三木町地域で支えあう見守り活動										
H28年2月10日	かがわ高齢者見守りネットワーク										
H28年4月20日	坂出市まいまいこ（徘徊）高齢者おかえり支援事業										
H28年5月24日	玉野市地域の安心・安全見守り活動										

銀行名	百十四銀行
タイトル	「瀬戸内国際芸術祭2016」を積極的に応援
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>  瀬戸内の島々と二つの港を舞台に、3年に一度開催される現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭2016」を地域振興の観点から、当行グループを挙げて応援している。</p> <p><b>【取組み内容】</b>  ボランティアの派遣  会期中に、ボランティアを派遣し、作品案内やチケット販売などを行っている。</p> <p>港の清掃活動  訪れる人々に気持ちよく島々へ渡っていただけるよう、各シーズンが開幕する直前の土曜日に、高松・宇野港で清掃活動を実施している。</p> <p><b>【実施時期（実施予定時期）】</b>  春：3月12日、夏：7月16日、秋：10月1日</p> <p>その他の応援内容  全行員が、瀬戸内国際芸術祭のロゴ入り名刺の使用や、缶バッジ着用のほか、芸術祭のTシャツを着用（港周辺の営業店のみ）しPR活動を行っているほか、県内外のすべての営業店ロビーでPR映像を放映している。</p> <p><b>【取組みの効果】</b>  県を挙げて取り組んでいるイベントであり、当行も地元金融機関として、初回の2010年より応援している。回を重ねるごとに、地元を活性化するためにより積極的に関わろうとする意識が全職員の間で高まってきている。</p> 

銀行名	百十四銀行
タイトル	世界初「天体望遠鏡博物館」開館のお手伝い
取組み内容	<p><b>【動機（経緯）】</b>  当行の顧問である村山昇作氏が代表を務めている、世界初の「天体望遠鏡博物館」開館の準備作業等を実施。</p> <p><b>【取組み内容・効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本博物館は、人口減少のため廃校となった小学校をそのまま展示施設として利用し、全国から集めた、大小さまざまな大きさの使われなくなった天体望遠鏡が約200台以上展示されている世界初の博物館である。</li> <li>・博物館オープンは、行政と市民、ボランティアが一体となって取り組んでいる事業で、青少年の天文活動普及の場として、また、地域活性化のモデルケースとなるよう、地域住民から期待の声が高まっている。</li> <li>・準備作業では、近隣の営業店行員や本部分行員のボランティアが、これらの組み立て作業や館内の清掃作業等に協力した。</li> <li>・平成28年3月12日に開館を迎えた同館の活動を、今後も様々な角度から支援していく予定。</li> </ul> 

銀行名	伊予銀行
タイトル	地域貢献に関する取組み
取組み内容	<p>金融経済教育への取組み</p> <p>愛媛県の将来を担う学生に、「銀行業務の仕組み」や「健全な金銭感覚」等を学んでもらうことを目的に金融経済教育に取り組んでいる。</p> <p>小学生を対象に、春休みや夏休み期間等を利用して「キッズセミナー」を開催し、ゲーム等を交えながら楽しく銀行業務への理解浸透に貢献した。</p> <p>27年度は、春休みには愛媛県に常設のミュージカル劇場を持つ「坊っちゃん劇場」の役者とコラボし、3か所で3回開催し、参加生徒数は74名であった。</p> <p>また、夏休みには、愛媛県内11店で合計16回開催し、参加生徒数は500名であった。</p> <p>高校生を対象に、金融知力普及協会と連携して「エコノミクス甲子園 愛媛大会」を開催し、金融リテラシーの向上に貢献した。</p> <p>27年度の開催内容は、愛媛県の高校9校から23チーム46名が参加した。</p> <p>小学生から大学生まで幅広い年代層を対象に、職場見学会、職場体験学習・インターンシップ、講師派遣・出前授業を行い、銀行業務への理解浸透に貢献した。</p> <p>なお、27年度の開催内容は以下のとおりで、合計で41回、691名が参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 小学生の職場見学会（まちたんけん）：12回、196名が参加</li> <li>- 小学生への講師派遣・出前授業：2回、91名が参加</li> <li>- 中学生の職場体験学習・インターンシップ：16回、94名が参加</li> <li>- 高校生の職場体験学習・インターンシップ：8回、170名が参加</li> <li>- 高校生への講師派遣・出前授業：3回、140名が参加</li> </ul> <p>環境問題への取組み</p> <p>環境問題に取り組む団体等を支援する仕組みを構築するとともに、当行自身も「森づくり」にフォーカスしつつ、各種の環境問題対策に取り組んでいる。</p> <p>創業130周年（平成20年）を記念して1億円で設定した「公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』」により、環境問題に取り組んでいる団体等に助成金を贈呈した。</p> <p>27年度の実績は、11先に対して4,410千円を助成した。</p> <p>愛媛県の「企業の森」制度に則って地公体等と連携し、愛媛県内4か所に「伊予銀行エバーグリーンの森」を設け、植樹や下草刈り等の森林保全活動に取り組んでいる。</p> <p>27年度の実績は、3回活動し117名の行員がボランティア活動を行った。</p> <p>当行に事務局を設置し、愛媛県・松山市・地元企業に呼びかけ、平成22年に「『森のあるまちづくり』をすすめる会」を発足させた。本会では、会員企業が社有地等に植樹し、ふるさと愛媛を緑豊かな地域にしていく活動を行っている。</p> <p>27年度の実績は、3回で180名が参加し、1,269本の植樹を行った。</p> <p>なお、現在の参加企業・団体数は67先となり、植樹累計本数は45,537本である。</p>

#### 文化・スポーツ活動への取組み

地域文化の発展と向上のお役に立ちたいとの思いから、平成4年より「伊予銀行地域文化活動助成制度」の活動を始め、愛媛県内で伝統性のある草の根的な文化活動を継続している団体等に活動資金の一部を助成している。

また、地域のスポーツ振興に貢献したいとの思いから、昭和60年に女子ソフトボール部、平成元年にテニス部を創部して活動を続け、平成29年に開催される愛媛国体をはじめスポーツを通じた地域活性化に取り組んでいる。

「伊予銀行文化活動助成制度」の活動としては、年度で2回、愛媛県内で文化活動を継承している団体からの助成金申請を受け、有識者から成る「伊予銀行文化振興顧問団」の意見を参考に審議して助成金を交付している。

例年4月と10月に助成先を決定しており、27年度は合計で31先、6,050千円の助成金を交付した。

女子ソフトボール部は、日本リーグ1部で活動して地域のスポーツ振興に貢献するとともに、ジュニア選手を対象とした「ジュニアソフトボール教室」を冬季に開催して地域の選手育成にも取り組んでいる。

テニス部は、日本リーグで活動して地域のスポーツ振興に貢献するとともに、ジュニア選手を対象とした「いよぎんテニスみらい塾」を毎週開催して地域の選手育成にも取り組んでいる。

平成26年からサッカーJ2所属の「愛媛FC」のユニフォーム(背中)スポンサーを務めるとともに、「愛媛FC」J1昇格サポート協議会の会長を大塚頭取が務めるなど、サッカーを通じた地域活性化に取り組んでいる。

「全日本女子硬式野球選手権大会」に特別協賛して冠スポンサーを務め、女子野球の普及に貢献するとともに、女子野球を通じた地域活性化に取り組んでいる。

#### 障がい者への配慮

愛媛県内における社会福祉の充実を目的に、昭和51年より公益財団法人「伊予銀行社会福祉基金」により、社会福祉施設等に福祉機器の贈呈を行っている。

また、障がいのある方の就労支援体制の充実を図るため、平成26年10月に障がい者雇用専門事業所「いよぎん Challenge & Smile 工房」を開設した。

平成27年度は、「伊予銀行社会福祉基金」より愛媛県内6か所の社会福祉施設等に福祉機器を贈呈した。

「いよぎん Challenge & Smile 工房」では、専門的なケアスタッフ3名を配置し、11名の従業員を雇用して、お客さまに配布する当行のオリジナルマスコットキャラクターの木工グッズや手織りコースター等を制作した。

以 上